令和7年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～児童分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団

《研修目的》

利用者調査の意義や、利用者の特性を理解した上でのコミュニケーション方法等について学び、利用者調査の充実を図ることを目的とする。

《担当講師》

日本女子大学 家政学部 児童学科 教授：和田上 貴昭 氏
 社会福祉法人光明会 杉並学園 園長：麻生 信也 氏
 社会福祉法人 愛恵会乳児院 愛恵会乳児院 職員：川口 亜衣 氏
 東京都福祉サービス評価推進機構 アドバイザー：吉田 紅愛 氏

《時間割》

時 間	科 目	講 師 等
10:00	5分	○事前連絡
10:05	5分	○開講挨拶
10:10	60分	○講義1 児童福祉制度の変遷と現状
～		日本女子大学 家政学部 児童学科 教授 和田上 貴昭 氏
11:10	10分	休 憩
11:20	50分	○講義2 利用者調査の意義
～		公益財団法人東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
12:10	60分	休 憩
13:10	60分	○講義3 聞き取り方式の対象となる利用者を理解する
～		社会福祉法人光明会 杉並学園 園長 麻生 信也 氏
14:10	10分	休 憩
14:20	15分	○オリエンテーション
～		東京都福祉サービス評価推進機構 アドバイザー 吉田 紅愛 氏
14:35	70分	○演習1 利用者調査の技法を学ぶ
～		社会福祉法人光明会 杉並学園 園長 麻生 信也 氏
15:45	10分	休 憩
15:55	50分	○演習2 利用者調査回答の振り分けを学ぶ
～		社会福祉法人 愛恵会乳児院 愛恵会乳児院 職員 川口 亜衣 氏
16:45	10分	○質疑応答
16:55	5分	○事務連絡
～		事務局
17:00		終了

※ 1日目の演習1・2では、

児童養護施設における聞き取り方式の利用者調査の技法を学びます。

児童の聞き取り場面として2通りのビデオを視聴し、ワークを通して、評価者として望ましい利用者調査の在り方や回答の振り分けについて学びます。

施設利用児童の思いを深く理解している施設長、施設職員と、経験豊かな評価者である講師3名から、回答の振り分けについて解説があります。

令和7年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編
【 利用者調査の手法を学ぶ ～児童分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団

《研修目的》

利用者調査の意義や、利用者の特性を理解した上でのコミュニケーション方法等について学び、利用者調査の充実を図ることを目的とする。

《担当講師》

社会福祉法人聖オディリアホーム 聖オディリアホーム乳児院 施設長 鎌倉 道子 氏
 東京都福祉サービス評価推進機構 アドバイザリー：吉田 紅愛 氏

《時間割》

10:00	5分	事務連絡	(事務局)
10:05 ～	30分	○講義4 場面観察方式の調査手法	公益財団法人東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
10:35	10分	休憩	
10:45 ～	60分	○講義5 利用者特性に配慮した意向発信(サイン)の見出し方	社会福祉法人聖オディリアホーム 聖オディリアホーム乳児院 施設長 鎌倉 道子 氏
11:45 ～	40分	○演習3 線引きワーク	社会福祉法人聖オディリアホーム 聖オディリアホーム乳児院 施設長 鎌倉 道子 氏
12:25	60分	休憩	
13:25 ～	45分	○演習4 個人調査シート作成ワーク	東京都福祉サービス評価推進機構 アドバイザリー 吉田 紅愛 氏
14:10	10分	休憩	
14:20 ～	75分	○演習5 合議結果作成ワーク	
15:35	15分	休憩	
15:50 ～	40分	○発表・講評	
16:30 ～	10分	○質疑応答	
16:40 ～ 16:45	5分	○事務連絡 終了	(事務局)

※ 2日目の演習3・4・5では、
 乳児院における場面観察方式の調査方式を学びます。
 ビデオ視聴により、乳児院の日常生活の中で発せられた児童のサイン
 (呼びかけ、声なき呼びかけ、まなざし等)に対する職員の関わりを観
 察し、グループワークを通じて場面観察方式の記載方法を学びます。
 児童のサインはどこにあったのか、乳児院長が解説し、講評やグルー
 プワークで作成した「評価機関が選定した場面」と「評価機関が読み取
 った児童の気持ちの変化」の記載について評価者が解説します。